

## Ⅷ 県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

### ○平成20年度事業の実績

#### (1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成20年4月16日開催）で審査・採択し、支援を行ないました。

##### 【採択状況】

・ 応募件数23件 採択件数22件 実施件数20件

#### (2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成20年11月21日開催）で審査し、平成21年度事業などへの反映を検討しました。

##### 【応募状況等】

・ 応募件数 10件 うち1件につき、H21年度事業に反映  
（特別支援学校用机・椅子の開発）



カシノナガキクイムシの被害にあった地域の里山を整備し、地域住民とともに伐採木を利用したシイタケの植菌に取り組みられました。  
（雄神地区森林振興会）



親子で地域の里山林の整備に取り組み、親子の絆、地域の森との絆を深められました。  
（氷見市立十三中学校育友会）

平成20年度 県民による森づくり提案事業 一覧表

番号	実施団体名	事業名	県補助金額	参加人数
1	魚津地区 林業研究グループ協議会	間伐材を活用した卒業証書額づくり	200 千円	137名
2	アースディとやま2008 にいかわ実行委員会	クリキンディの森づくり	811 千円	166名
3	環境と地域活性化を考える市民グループ Bamboo saves the earth	竹の楽校	191 千円	114名
4	(財) オイスカ富山県支部	猿倉山里山保全森づくり事業	198 千円	123名
5	きんたろう倶楽部	竹チップ堆肥づくり	184 千円	212名
6	呉羽丘陵 森の楽校	とやまのまんなか森づくり事業	200 千円	81名
7	エコロの森ネイチャークラブ	天蚕の森づくりと森のエコツアー	208 千円	124名
8	たてやまの森づくり実行委員会	たてやま森の祭典	721 千円	238名
9	北八代里山を守る会	里山活用体験塾	890 千円	134名
10	火見城発伸の会	飯久保山「次世代に継ぐ森・II」づくり	645 千円	305名
11	氷見市立十三中学校育友会	「きずなの森」づくり	185 千円	434名
12	アートNPOヒミング 八代環境パトロール隊	森林整備・伐採	988 千円	132名
13	小矢部里山を守る会	大嶺山を中心とした森林整備事業 による自然体験活動の推進	255 千円	60名
14	綾子青年団 綾子里山再生利用の会	風倒木を利用した綾子町内 太田神社内こどもコミュニティーづくり	200 千円	102名
15	砺波増山杉を育てる会	増山杉を採穂・育成し普及する事業	943 千円	152名
16	雄神地区森林振興会	広葉樹の森を見直そう	240 千円	50名
17	雑木囃子	雑木囃子の森／森林整備と子ども達への心の教育の場作り	351 千円	205名
18	あそあそ自然学校	森の恵みを知る子どもエコツアー	225 千円	33名
19	NPO法人 南砺の山々を守る実行委員会	南砺の山々を守る炭焼	1,000 千円	455名
20	閑乗寺公園の会	閑乗寺公園内で炭焼きし、 八乙女山の被害木利用	294 千円	320名
21	トコトウ 瞳々の会	荒廃した森林と公園遊歩道の 整備・復旧作業	団体の都合により辞退	
22	Kid's Eco Project 実行委員会	Kid's Eco Project ～子供の僕たち、私たちにも出来ること～	団体の都合により辞退	
計			8,928 千円	3,577名

《 事業概要 》

1. 実施団体名	魚津地区林業研究グループ協議会
2. 事業名	間伐材を活用した卒業証書額づくり
3. 事業目的	間伐材を未利用資源として放置せずに有効利用することで森林整備に対する県民意識の醸成を図るもの。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	間伐材の卒業証書づくり (2校、200セット) ----- ・参加延べ人数：137名
5. 実施場所	朝日町あさひ野小学校、朝日町五箇庄小学校
6. 事業期間	平成20年9月18日～平成21年2月27日
7. 事業費 (県補助金)	202,900円 (200,000円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	間伐材の有効利用した作品の製作と森林環境教育を通じて、新川の森林を元気にし、地球温暖化の防止にも役立てるためには新川で育った木を利用することが大切であることを普及することができた。

《 実施状況写真 》



額の材料として間伐材を搬出



間伐材を額の部材に加工



森林の役割や間伐の重要性などを講義



間伐材を用いて額づくり

《 事業概要 》

1. 実施団体名	アースディとやま2008にいかわ実行委員会
2. 事業名	クリキンディの森づくり
3. 事業目的	かつての山里の暮らしを見習い多角的に森林を活用するための整備を、幅広い参加者により継続的に行い、森との触合いや恵みを享受する喜びを分かち合う。また、子供達が森に入る機会も多く設け、山里の暮らしの豊かさを学び、山や森林を見直す機会とする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 山林の診断と利用計画づくり ② 山林整備 ③ 森林環境教育と「森の感謝祭」の開催 ----- ・参加延べ人数：166名
5. 実施場所	魚津市坪野 地内
6. 事業期間	平成20年5月22日～平成21年2月26日
7. 事業費 (県補助金)	1,014,260 円 ( 810,695 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	昨年度のシンポジウム開催により高まった森づくりへの機運を、実際に整備することで形にすることができた。今年度も多くの参加者が集まったが、さらに多様な方々の参加と継続的な活動が課題。

《 実施状況写真 》



計画策定のための測量



森林整備状況



「森の感謝祭」で森林環境教育

《 事業概要 》

1. 実施団体名	環境と地域活性化を考える市民グループ Bamboo save the earth 竹は地球を救う
2. 事業名	竹の楽校
3. 事業目的	富山の森林保全活動として竹林を伐採し、その排出竹を活用したクラフト教室の開催により竹材の有効活用の普及啓発を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 竹林伐採 全6回 ② 竹の楽校（クラフト教室） 全9回 ----- ・参加延べ人数：114名
5. 実施場所	①富山市金屋地区を中心に ②富山市婦中町添島 地内
6. 事業期間	平成20年4月27日～平成21年1月28日
7. 事業費 (県補助金)	207,744 円 ( 191,385 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	竹材を利用したクラフト教室は計画どおり全9回実施することができ、多くの参加者に竹材のさまざまな使い方や魅力、さらには竹林整備の必要性を伝えることができた。

《 実施状況写真 》



竹林整備状況



竹製水鉄砲の製作



竹フラワーポットの製作



門松づくり

《 事業概要 》

1. 実施団体名	(財) オイスカ富山県支部
2. 事業名	猿倉山里山保全森づくり事業
3. 事業目的	猿倉山森林公園に隣接する荒地の整備事業を地域住民協力のもと、青少年や幅広く県民とともに実施し、緑豊かな森づくり意識の高揚に努める。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 雑草、雑木の刈り払い地拵えと植樹 2回 ② 森の大切さについて学ぶ森林教室 1回 ----- ・参加延べ人数：123名
5. 実施場所	富山市舟倉谷内割 地内
6. 事業期間	平成20年11月1日～平成20年11月2日
7. 事業費 (県補助金)	198,260 円 ( 198,260 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	荒廃地を豊かな森に再生するため、コナラ、ヤマザクラの苗を3世代の参加者により植栽した。また、森づくりと私たちの暮らしとの関わりについての森林教室を開催することにより、森づくりの大切さや今回の植樹活動の意義を普及することができた。

《 実施状況写真 》



地拵え



植樹活動（全景）



植樹活動



森林教室

《 事業概要 》

1. 実施団体名	きんたろう倶楽部
2. 事業名	竹チップ堆肥づくり
3. 事業目的	里山整備で発生したモウソウチクの有効利活用として、チップ化した竹を堆肥にし、地元還元。また植栽地などの土壌改良剤として使用する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 発生竹の粉碎処理 ② 竹チップの発酵促進 ----- ・参加延べ人数：212名
5. 実施場所	①富山市婦中町新町 地内 ②富山市ファミリーパーク内
6. 事業期間	平成20年7月5日～平成20年12月19日
7. 事業費 (県補助金)	207,940 円 ( 184,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	モウソウチクにより鬱蒼としていた里山が、整備により明るくよみがえった。また、チップ化し、発酵して堆肥化することで伐採竹の有効活用を図ることができた。今後の活用法として期待できる。

《 実施状況写真 》



竹チップと発酵促進剤の混合



切り返し作業



完成した竹堆肥



竹堆肥の活用（植樹に利用）

《 事業概要 》

1. 実施団体名	呉羽丘陵 森の楽校
2. 事業名	とやまのまんなか森づくり事業
3. 事業目的	荒廃した雑木林や竹林の整備と廃材の活用を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 竹林整備 4回 ② 廃材クラフト 2回 ----- ・参加延べ人数：81名
5. 実施場所	富山市吉作および寺町けやき台 地内
6. 事業期間	平成20年4月27日～平成20年12月21日
7. 事業費 (県補助金)	269,176 円 ( 200,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	モウソウチクの侵入で荒廃した雑木林を整備し、本来の豊かな森を取り戻した。また、クラフト教室の開催により竹の有効活用を図るとともに、里山の現状や里山整備の楽しさ、理解が深まった。

《 実施状況写真 》



タケノコ掘り（5月）



竹林の整備（5月）



植栽地の刈払い（10月）



クラフト教室（12月）



《 事業概要 》

1. 実施団体名	エコロの森ネイチャークラブ
2. 事業名	天蚕の森づくりと森のエコツアー
3. 事業目的	富山の里山で天蚕を育てることにより、生き物と森の関係を知る。また、森の案内人とともに散策することで、森を体感し森の癒し効果を実感するとともに、森への深い理解を醸成する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 天蚕の育成体験活動 15回 ② 森林エコツアー 1回 ----- ・参加延べ人数：124名
5. 実施場所	富山市八尾町 地内
6. 事業期間	平成20年7月3日～平成21年2月27日
7. 事業費 (県補助金)	212,350 円 ( 207,550 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	計画通りクヌギ林の造成、天蚕の育成と製糸を実施し、八尾の伝統的な天蚕を守り伝えるための一歩を踏み出すことができた。まだまだ使い物にならないような糸しかできないので継続的な取り組みが必要である。また、エコツアーの開催で森林の大切さとともに八尾の森の豊かさを参加者に伝えることができた。

《 実施状況写真 》



天蚕の森(クヌギ)の整備状況



クヌギのドングリ拾いと鉢植え



撚糸した糸の巻き取り



森のエコツアー(雪上ハイク)

《 事業概要 》

1. 実施団体名	たてやまの森づくり実行委員会
2. 事業名	たてやま森の祭典
3. 事業目的	森林レクリエーションの場として親しまれている立山町吉峰地区において、ボランティアの参加を募り、協働で森林整備を行なうとともに、とやまの森を支える県民意識の醸成を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	たてやま森の祭典 <ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹活動</li> <li>・間伐材を利用したベンチ作成</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加延べ人数：268名</li> </ul>
5. 実施場所	立山町吉峰野開
6. 事業期間	平成20年4月19日
7. 事業費 (県補助金)	895,060 円 ( 720,575 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	この事業を通じて、参加者やその家族等に、森林整備の大切さや間伐材の利活用についての理解が広まった。また、森を育て愛しみ、森とのふれあいを楽しむ心が育まれた。

《 実施状況写真 》



たてやま森の祭典開会



植樹活動



間伐材ベンチ作成状況



間伐材ベンチ設置状況

《 事業概要 》

1. 実施団体名	北八代里山を守る会
2. 事業名	里山活用体験塾
3. 事業目的	森林の整備や利活用を促進するとともに、森の果たす多面的機能を体験する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 炭窯づくり ② 体験教室（シイタケづくり、炭焼き） ----- ・参加延べ人数：134名
5. 実施場所	氷見市北八代 地内
6. 事業期間	平成20年7月26日～平成21年2月27日
7. 事業費 (県補助金)	1,145,990 円 ( 890,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	かつて北八代で盛んに行われていた炭焼きを再開する基盤ができあがり、小学生を対象とした体験会も開催することができ、地元の豊かな森林や里山での営みを伝えることができた。今後は大きく育ったクヌギを中心とした里山の管理と一般参加者を招いた炭焼きやキノコ栽培などの里山体験会を実施していきたい。

《 実施状況写真 》



炭窯づくり（窯底生コン打設）



炭窯づくり（レンガ積み）



炭窯完成・炭焼き



地元小学生を対象にした体験教室

《 事業概要 》

1. 実施団体名	火見城発伸の会
2. 事業名	飯久保山「次世代に継ぐ森・Ⅱ」づくり
3. 事業目的	森林整備を行い、地域の歴史・文化に根付いた総合教育の場としての里山を創る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備（遊歩道整備） ② 竹ドームでのコンサート（1回） ----- ・参加延べ人数：318名
5. 実施場所	氷見市飯久保 地内
6. 事業期間	平成20年7月7日～平成20年8月30日
7. 事業費 (県補助金)	793,381 円 ( 645,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	地元中学校の十四歳の挑戦を受け入れ、飯久保山の遊歩道整備を会員と一緒にを行い、参加者全員が達成感を味わうとともに、地元の小・中学生も参加した竹ドームコンサートの開催により身近な里山への愛着、地域の人や親子の絆が一段と高まった。

《 実施状況写真 》



整備した竹を利用した楽器づくり



遊歩道整備



遊歩道整備（登り初め）



竹ドームコンサート

《 事業概要 》

1. 実施団体名	氷見市立十三中学校育友会
2. 事業名	「きずなの森」づくり
3. 事業目的	生徒と保護者、教職員が一緒になって地域の森を整備したり、地域の自然に触れたりして森を愛する心を育てる。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 観察会（4回） ② 講演会（1回） ③ 草刈り（3回） ----- ・参加延べ人数：434名
5. 実施場所	氷見市飯久保 地内
6. 事業期間	平成20年5月23日～平成21年2月19日
7. 事業費 (県補助金)	185,119 円 ( 185,119 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	身近な里山の整備や観察、さらには講演会を通して、生徒達にとっては氷見の森林の現状や将来について考える非常によい機会となった。また、保護者や地域の方との交流の輪も広がり、きずながより深まった。

《 実施状況写真 》



生徒徒と保護者がともに森林整備を実施



植物観察会



林内に設置する看板を県産材で製作



講演会の開催状況

《 事業概要 》

1. 実施団体名	アートNPOヒミング 八代環境パトロール隊
2. 事業名	山と海プロジェクト 天馬の森林整備
3. 事業目的	会員や一般参加者、指導者の手を借りて、森林整備をする。また、 地元で育った木を使って船大工によって木造天馬船をつくる。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備（10回） ② 地元の木を使って天馬船造船（一艘） ----- ・参加延べ人数：132名
5. 実施場所	氷見市国見 地内、氷見市北大町 地内
6. 事業期間	平成20年5月24日～平成21年2月27日
7. 事業費 (県補助金)	1,250,925 円 ( 988,193 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	予定していた以上に森林整備を行うことができ、子供達も楽しく遊 べるような森林空間を造成できた。また、天馬船を造船し、森林整 備に貢献するとともに海の人にも山の大切さを感じてもらったこ とができるようになった。

《 実施状況写真 》



森林整備状況①



整備後の森林で遊ぶ子供達



天馬船用材の伐採・搬出



天馬船の造船

《 事業概要 》

1. 実施団体名	小矢部里山を守る会
2. 事業名	大嶺山を中心とした森林整備事業による自然体験活動の推進
3. 事業目的	小矢部市に残された自然を大切に守っていくため市で一番高い山である大嶺山を中心に子供から大人まで楽しめる自然体験エリアを作る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 久利須集落から山頂までの整備のための道作り ② 風倒被害木を利用してのテーブルイスの作成 ③ 案内看板、標識の設置 ----- ・参加延べ人数：60名
5. 実施場所	小矢部市久利須（大嶺山周辺）
6. 事業期間	平成20年6月1日、平成20年6月8日
7. 事業費 (県補助金)	273,386 円 ( 255,039 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	大嶺山までの登山道を整備するとともに、案内看板、標識等を設置したことで安全に、安心して自然体験活動が行えるようになった。今後は「くりす自然塾」を開校し、整備地を中心に活動していく。

《 実施状況写真 》



整備した登山道



案内看板



山頂に設置した風倒木によるテーブルイス



くりす自然塾

《 事業概要 》

1. 実施団体名	綾子青年団 綾子里山の再生利用の会
2. 事業名	風倒木を利用した綾子町内太田神社内こどもコミュニティづくり
3. 事業目的	町内付近の里山の風倒木の整理や、これを活用したテーブル・イスを製作、町内神社境内に設置し、地域のこどもコミュニティの形成に役立てる。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 風倒木の集材・運搬・製材 一式 ② テーブル・ベンチの製作・設置 4基 ----- ・参加延べ人数：102名
5. 実施場所	①小矢部市蓮沼 地内、②小矢部市綾子 地内
6. 事業期間	平成20年5月1日～平成20年10月20日
7. 事業費 (県補助金)	228,589 円 ( 200,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	地域住民の手で風倒木の整理をしたことで身近な里山での風倒木被害の状況について認識を共有できた。また、被害木でテーブル・ベンチの製作し、子供の遊び場となる太田神社に設置することで住民の親睦と子供を中心としたコミュニティづくりに役立った。

《 実施状況写真 》



風倒木の集材



風倒木の製材



テーブル・ベンチの製作状況



設置状況



《 事業概要 》

1. 実施団体名	砺波増山杉を育てる会
2. 事業名	増山杉を採穂・育成し普及する事業
3. 事業目的	増山杉の植林に備え 5,000 本の挿し木による苗を育成するとともに、ビオトープを含めた周辺環境整備を行う。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 苗畑の造成 ② 採穂育苗および移植作業 ③ ビオトープ整備作業 ----- ・参加延べ人数：152 名
5. 実施場所	砺波市増山 地内
6. 事業期間	平成 20 年 5 月 1 日～平成 20 年 12 月 18 日
7. 事業費 (県補助金)	1,190,140 円 ( 942,605 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	砺波の伝統的な増山杉の苗木を育成する拠点ができることで、今後、これらを活用した緑化活動への展開が可能となった。 また、ビオトープ整備により周辺を気持ちよく散策することもできるようになった。

《 実施状況写真 》



増山杉採穂状況



挿し木畑への植え込み



移植畑への移植作業



ビオトープ整備

《 事業概要 》

1. 実施団体名	雄神地区森林振興会
2. 事業名	広葉樹の森を見直そう
3. 事業目的	当地区住民はカシノナガキクイムシ被害に関心が高く、被害の拡大に危機感を抱いていることから、広葉樹林整備に関する認識を深めるとともに、広葉樹林整備や木材の有効利用を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備とキノコの植菌作業 ② カシノナガキクイムシの予防 ----- ・参加延べ人数：50名
5. 実施場所	砺波市庄川町雄神地区
6. 事業期間	平成20年11月22日～平成20年11月23日
7. 事業費 (県補助金)	252,828 円 ( 239,621 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	事業実施前は自分達の山の手入れも十分にしていなかったが、この事業をきっかけとしてもう一度山に入ろうという意識が会員に芽生えた。また、地域の方たちにもシイタケのほだ木を配布することで集落背後の山からの恵みに触れ、森を見直すきっかけとなった。

《 実施状況写真 》



森林整備（伐採）



森林整備（玉切り）



カシノナガキクイムシ予防作業



シイタケ植菌作業

《 事業概要 》

1. 実施団体名	雑木囃子
2. 事業名	雑木囃子の森 森林整備と子ども達への心の教育の場作り
3. 事業目的	雑木囃子の森の整備を通じ、次世代を担う子ども達へ自然の素晴らしさを教え、自然環境について親子で学習できる場所の整備をする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備（カシナガ被害木等伐採、歩道修理、樹木名取付等） ② 森林環境教育（カシナガ被害木でキノコ植菌、クラフト作り、野草や木の実の採取） ----- ・参加延べ人数：205名
5. 実施場所	砺波市東別所 地区
6. 事業期間	平成20年5月3日～平成21年1月13日
7. 事業費 (県補助金)	401,893 円 ( 351,419 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	次世代を担う子供達の遊び場、教育の場としての森林を整備し、充実させることができた。また、それと同時に、季節に応じたさまざまな森林環境教育を実施し、子供達に森の豊かさ、大切さを伝えることができた。

《 実施状況写真 》



森林整備



森林整備（遊び場づくり）



森林環境教育（森の生き物教室）



森林環境教育（クラフト教室）

《 事業概要 》

1. 実施団体名	あそあそ自然学校
2. 事業名	森の恵みを知る子どもエコツアー
3. 事業目的	県内の子どもたちが森林にふれる機会をつくとともに、森林の大切さへの理解を深める学習機会をつくる。また、一緒に活動する大学生にも森林への理解を深める機会とする。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森の恵みを知る親子エコツアーの実施（1回） ② 普及PRチラシの配布（1回） ----- ・参加延べ人数：33名
5. 実施場所	南砺市桜ヶ池周辺
6. 事業期間	平成20年8月17日～平成20年10月23日
7. 事業費 (県補助金)	283,000円 ( 260,000円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	森林内を散策しながら、木の実や木の葉っぱの紹介、森の役割や森林と暮らしとの関わりについての解説を通して、ツアー参加者に森林の大切さを普及啓発することができた。

《 実施状況写真 》



森の植物を紹介



木の実の紹介



森の役割について解説



木の葉っぱクイズ（指定した葉を探す）

《 事業概要 》

1. 実施団体名	NPO法人 南砺の山々を守る実行委員会
2. 事業名	南砺の山々を守る炭焼き
3. 事業目的	カシノナガキクイムシ被害の拡大防止と被害を受けた里山再生のため、被害木を伐採・活用する。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① 森林整備（カシノナガキクイムシ被害木の伐採 30ha、伐採跡地植栽イベント1回） ② 伐採被害木を活用した炭焼き活動（4回） ・参加延べ人数：455名
5. 実施場所	南砺市小二又、才川七 地内
6. 事業期間	平成20年6月22日～平成21年2月27日
7. 事業費 (県補助金)	1,404,039 円 (1,000,000 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	カシノナガキクイムシ被害木の伐採とそれを活用した炭焼きにより充実した活動を行うことができた。イベントの開催に当たっては多数の参加者があり、南砺の森林の現状を理解してもらうとともに、被害跡地の植栽にも参加してもらうことができた。

《 実施状況写真 》



森林整備（カシナガ被害木伐採）



森林整備（伐採木搬出）



炭焼き活動



植樹イベント（ドングリ植込）

《 事業概要 》

1. 実施団体名	閑乗寺公園の会
2. 事業名	閑乗寺公園で炭焼きし、八乙女山の被害木利用
3. 事業目的	閑乗寺公園を中心に自然保護活動を行い、南砺市の地域活性化を図る。
4. 事業内容 (事業量・参加者数)	① カシノナガキクイムシ被害木の伐採（約 50 本） ② 被害木を利用した炭焼（18 回） ----- ・参加人数：320名
5. 実施場所	南砺市八乙女山周辺、閑乗寺公園
6. 事業期間	平成 20 年 4 月 29 日～平成 21 年 2 月 25 日
7. 事業費 (県補助金)	337,316 円 ( 294,131 円)
8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り)	期間中の活動日数は計 85 日にもものぼり、18 回もの炭焼きを実施することができ、会員の士気向上につながった。また、カシノナガキクイムシ被害木だけでなく、孟宗竹やマツクイムシ被害木の整理も行うことができた。

《 実施状況写真 》



カシナガ被害木等の伐採・整理



カシナガ被害木の薪割り



孟宗竹も整理



被害木利用炭焼き

県民からの森づくり事業のアイデア提案 一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見	
					事業への反映等	内容
森林の整備や利活用	流木対策	1	流木の処理	①流木の一因と考えられる枯損木の伐採除去 ②整備に必要な作業道の新設	他事業で反映を検討	○カシノナガキクイムシ枯損木が、必ずしも流木発生の原因とはなっていない。 ○「災害に強い山づくり検討委員会」により流木発生機構や施設整備、森林整備について検討を予定している。
	病虫害対策	2	カシノナガキクイムシの被害木対策	①被害木の伐採による萌芽更新 ②伐採木の幹、枝および切り株を利用したキノコ栽培	反映済	①被害木の伐採は「里山再生整備事業(里山林整備、カシノナガキクイムシ枯損木除去事業)」で取組可能である。 ②きのこ栽培については、「里山再生整備事業(里山活用促進事業)」で取組可能である。
		3	松田江浜 海岸松林の保全	①海岸松林の「保護管理計画」を策定し、地域住民と樹木医などの専門家、郷土史家、行政などによるネットワークの構築 ②「保護管理計画」に基づくマツクイムシの駆除や松の補植などの保全対策を住民参加により実施	他事業で対応済み	○「保全すべき松林」を設定し、松くい虫被害対策推進事業計画及び自主事業計画を策定している。 ○事業計画に基づき、予防、防除事業を実施している。
	里山の再生	4	カドミウム汚染田の客土を送り出した里山の再生	「神通川左岸公害防除客土採取県有地」において、 ①厩糞等を利用した土壌の再生 ②当該地を里山に再生するための苗木生産 ③当該地のロケーションを生かしたグリーンツーリズム事業の実施	—	○当該地は林地開発の許可を得て、森林外に転用された場所であることから、水と緑の森づくり税の事業対象外である。 ○ご意見は跡地利用の提案として関係課に伝える。
	間伐の促進	5	スギ接ぎ木利用による間伐の促進	①間伐手遅れ林における強度間伐または皆伐の実施と伐採木の搬出、販売による森林所有者への利益還元 ②伐採木の切り株を利用した「接ぎ木」による更新	他事業で対応済み	○森林所有者への利益還元を目的とする事業は水と緑の森づくり税による事業の対象としないこととしている。 ○県では「魅力ある林業の構築」を目指し、施業の集約化などを進めているところである。 ○伐採木への接木更新については、技術的に困難であるが、低コストな再造林、保育技術の開発については別途検討したい。

県民からの森づくり事業のアイデア提案 一覧表

分野	内容	番号	事業名	事業概要	事務局意見			
					事業への反映等	内容		
県民意識の醸成	イベントの開催	6	街中での林業機械展示による県民の林業関心度の向上	グランドプラザなど街中で林業機械の展示、作業実演、試乗や木工工作、積み木を用いたイベントの開催により古い林業のイメージを払拭	他事業で反映を検討	○木と住まいフェアの開催や、県産材積木を製作して各種イベントなどに貸し出しを行いPRしている。 ○林業機械の展示等については危険性や騒音等の問題がクリアできる場所を選定した上で検討する。		
			森林資源の利活用	間伐材で作った割り箸のブランド化		スギ間伐材または端材による割り箸など木工品の製作 ・タテヤマスギのみ使用し、産地・銘柄を明示 ・社会復帰施設等で製作 ・県有施設で使用 ・「木づかい運動」の製品登録	他事業で反映を検討	○製箸機等の設備投資については各施設に負担してもらう必要があるため、社会復帰施設等でも加工可能な商品開発について検討を行う。
				木質バイオマス		森林資源の利活用の促進	①間伐材や建築廃材をエネルギー利用するための検討会を設置し、生産・流通システムや必要施設等について検討 ②県有施設、学校等でチップやペレットを用いるボイラーやストーブを設置 以上により間伐材や廃材の需要・供給システムを構築	他事業で反映を検討
県産材利用	県産材利用	9	県産材を利用した特別支援学校用および普通学級用机・いすの開発と普及	①県内の特別支援学校等での机・いすの利用状況調査・分析 ②調査データを元に県産材使用を前提に設計 ③試作して特別支援学校および普通学級にてモニター調査 ④モニター調査の結果を基に最終設計 ⑤県内業者による製作・設置	反映を検討	○学校用机の天板については「森に親しむ学び舎づくり事業」で実施済みである。 ○しかしながら、次代を担う子どもたちに県産材の良さを知ってもらうためには、利用者の意見等を反映し、より親しみやすいものとする必要があることから、事業の内容拡充を検討する。		
			10	学校施設備品の木質化		県産材利用促進事業の森に親しむ学び舎づくりを拡充し、ランチルームのテーブルなど補助対象を拡大	他事業で反映を検討	○子どもたちが県産材製品に触れる機会を増やすには、校内の様々な場所で県産材製品が使用されていることが望ましいため他事業において補助対象の拡大を検討する。